

決勝トーナメント初戦で涙

予選ブロックは2位で通過

川田 百華（阿賀野ジュニア6年）

ダイハツ全国小学生ABCバド大会

女子Aグループ（5・6年生の部）

8月14日～16日に札幌市で行われた「第18回全国小学生ABCバドミントン大会」の女子Aグループへ出場した川田百華さんが、予選リーグを2勝1敗で予選を通過し、決勝トーナメント進出を決めましたが、初戦で敗れ、目標のベスト8には遠く及びませんでした。

4人で戦う予選ブロック初戦。東京都の玉木亜弥選手と戦い、(7-21、21-18、13-21)で惜しくも敗れました。しかし、山口県の橘良侑選手に(21-11、21-8)で、滋賀県の高木夏彩選手には(21-9、21-9)で勝ち、決勝トーナメント進出を決めました。2位通過ですが、意気揚々と決勝トーナメント初戦を迎えました。しかしながら初戦の成田芽生(奈良県)は、身長はさほど高くはないのですが、ミスをしないバドミントンで主導権を握られ(13-21、15-21)で完敗でした。

川田選手が敗れた2選手は、ジュニアナショナルU13に選ばれ、「日の丸」を背負った日本代表です。2人とも、身長は百華さんほどで、高くはないのですが、ショットの正確さと粘り強いフットワークで川田選手を翻弄し、レベルの差を痛感させられた大会となりました。一方で、それが彼女の課題であることもはっきりしましたので、今後は、課題克服の練習を強化し、冬休みに広島市で行われる全国小学生バドミントン選手権大会に成果が出せるようがんばりますので、今後も応援よろしくお願ひします。